

書記	中田
文責	鶴沢

開催日時	開催場所
平成29年8月29日(火) 18時00分 ~ 19時45分	こども支援センターげんき5階研修室3

出席者・講師など	
居宅介護支援事業所 52事業所 61名参加	医療法人社団宏心会 六ツ木診療所師長
訪問看護事業所 18事業所 22名参加	訪問看護認定看護師 高江洲芳江氏

**次 第**

- 1 居宅介護支援部会からの挨拶
- 2 テーマ 在宅介護におけるターミナル期の訪問看護と居宅ケアマネジャーの連携
- 3 訪問看護部会からの挨拶
- 4 事務連絡

**議 事**

**1.浅野副部長挨拶**

次第の確認。講師紹介。

**2.テーマ 在宅介護におけるターミナル期の訪問看護と居宅ケアマネジャーの連携**

講師 医療法人社団宏心会 六ツ木診療所師長

訪問看護認定看護師 高江洲芳枝氏

在宅介護におけるターミナル期の訪問看護と居宅ケアマネジャーの連携

～住み慣れた在宅で最期までその人らしく過ごせる為に～

別紙資料参照

○グループワーク

1ブロック2グループ 合計10グループでワーク（1グループ7～8名）

ターミナル期の訪問看護と居宅ケアマネジャーの連携において上手くいった、いかなかった事例について

○グループワーク発表（抜粋）

・独居でアパート暮らしの方で大家から「看取りは困る」と言われた。

ある方は、予め大家へ伝え、家賃減額の交渉をし、最後は緩和ケア病棟へ入院した。

・60代前半の方で「結婚式に出たい」との目標あり、週単位でのプラン変更をしながら、目標達成され、緩和ケアへ

入院され永眠された。連携時にクラウドネットワークがあればより密な連携が図れたと思われるが、足立区で

は構築されていない。

・大学病院とは連携が取りづらく、訪問診療だと連携が取りやすい。必要な時に直ぐに関われる体制、顔が見える

関係づくりが必要。

・退院直後に急変し再入院となり、ケアマネが蚊帳の外

・先に医療サービスが入っているケースの場合、ケアマネが蚊帳の外になりがち

・KEYが失踪してしまった。

・24H対応の訪問診療・看護の一覧があると良い。

・Faの介護力が高く、ケアマネはメンタル面での支援が中心となった。

・Drからの方針、指示がはっきりしているとケアマネも各事業所も対応しやすかった。

・延命を望まない(DNR)と同意していたが、急変時に混乱し救急搬送依頼をしてしまった。

**3.訪問看護部会 浅野部長挨拶**

合同部会が開催でき、訪問看護とケアマネジャーとの連携が図ることができた。

今後もこのような機会を持ちたい。